

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年三月度 入選句（投稿総数二千五百九十五句・一般投句数六百三十六句）

特選

選者 長野 美代子

幹ぐつと地に踏んばって不老梅

海津市

横井 美圭

今年冬から春が未だ定まらず、梅も桜も咲くのに迷ったと思う。諺にもあるように「桜切るばか梅切らぬばか」と古梅は大きく切られても毎年気品に満ちた花を咲かせ、芳しい香に人も虫も一刻を酔い痴れさせてくれる。「幹ぐつと地に踏んばって」と力強く表現されたことに、一層美しい姿が浮んで来ます。素晴しい措辞に感銘いたしました。

濃淡も搗くほど馴染む蓬餅

大垣市

樋口 絹子

蓬餅を作るには手間隙かけて大変だと思う。「搗くほど馴染む」と、作る人しか分らないと思う。草の匂いも一層おいしさを増す。「お手間入りを」と言つて戴くのも分る。又食べたくなります。

寒木瓜やまず記さねば浮かんだ句

大垣市

松村 久子

この句は初心者の方の句だと思う。夜浮んだ句も朝には忘れてしまう。皆このようにして続けています。これからは素材もたくさん出てきますのでがんばって作つて下さい。

秀逸

白椿 一花に絞るレンズの目

東京都世田谷区

関戸 信治

次を待つホームにつのる寒さかな

安八郡神戸町

高橋 日出美

白扇を膝で鳴らして初稽古

不破郡垂井町

内海 白涛

湖に揺すられて山笑ひけり

大垣市

末守 節子

船頭の客待ち顔や春炬燵

大垣市

田中 雅子

湖靄ふ乗込漁の櫂の音

大垣市

臼井 秀子

釘打たぬ酒蔵高し冷えまさる

愛知県名古屋市

小松 とみゑ

春光や靴下脱ぎて砂遊び

大垣市

傍島 隆

壁一面吊雛占める茶房かな

大垣市

佐竹 余史美

紙ひひなクレヨン描きの大きな目

大垣市

片山 洋紅

入選

陽だまりの垣根に弾む寒雀
目刺焼く口先黒く焦げ潰す
小流れに古里のこゑ青き踏む
針供養しばし女に戻るとき
赤を濃く夢二の描く寒椿
山笑う嬉しきことのありそうな
猫の居ぬ膝がさみしひ春炬燵
五七五の駄作並べて山笑ふ
ずり落ちし眼鏡押し上げ種を選ぶ
田に残る足あと深き薄氷

不破郡垂井町 北村 廣美
愛知県額田郡 平松 京師
安八郡神戸町 高橋 泰
福井県福井市 三ツ山 ひろし
揖斐郡大野町 藤田 涼子
大垣市 米川 弘子
大垣市 川瀬 喜梅古
大垣市 宮脇 和子
大垣市 村田 通夫
滋賀県東近江市 西村 いよ子

入選

瓔珞をひとつ失くして雛古ぶ
砂浜に鳥の足跡春きざす
春雨や緩き鼻緒の宿の下駄
放棄田の又ひとつ増えいぬふぐり
川岸に水と戯むる糸柳
戦いの傷覆う雪賤ヶ岳
風冷えに首をすくめて鳩数羽
野遊や手を添え進む一輪車
時は元禄 朧夜の川燈台
伊吹嶺の風知りつくし大根干す

岐阜市 木田 由美
大垣市 三輪 葉加
大垣市 伊藤 英司
大垣市 大西 誠一
大垣市 伊藤 琴晶
兵庫県神戸市 有井 英曙
大垣市 杉崎 寿美
大垣市 傍島 豊子
福岡県京都郡 中富 節子
不破郡垂井町 高木 巧み

選者吟

丑三つ刻音なく渡る朧月

美代子